

ご自由にお持ちください

須原 利沢 父 湖 豆
那塩 足軽 秩河 伊

旅と宿の物語



旅プラスワン

2011
関東観光
9-12



お客様とのお約束、**定期運行**の高速バス。

毎日運行

時間を大切にするあなたのために

夜行高速バス

Highway bus



新宿 ⇄ 奈良
五條

新宿 ⇄ 京都
渋谷 ⇄ 枚方

中野 ⇄ 岡山
新宿 ⇄ 倉敷

練馬・中野 ⇄ 豊橋
新宿 ⇄ 三河田原

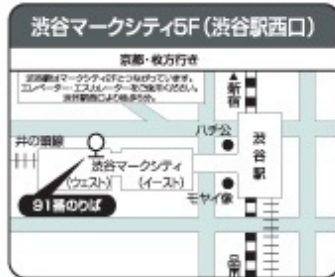
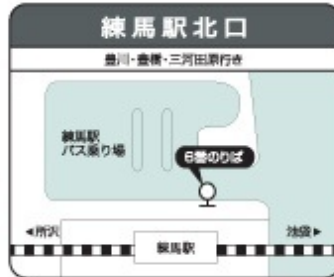
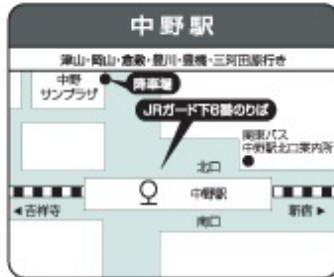
■ お問い合わせ先

ご予約・お問い合わせは (9:00~19:00)
関東バス 座席センター

Tel.03(3928)6011

インターネットでの予約、空席預金は（携帯電話対応）
発車オ～ライネット

<http://www.j-bus.co.jp>



やまと号

新宿 ↔ 奈良
 五條
 毎日運行

時刻表		運賃表	
23:00	23:15	5:42	5:55
6:15	6:10	23:33	23:20
23:00	23:15	5:42	5:55
6:15	6:10	23:33	23:20

時刻表		運賃表	
21:05	21:15	21:45	6:35
6:40	7:45	7:55	8:00
8:37	8:45	7:45	7:35
7:15	7:15	22:30	22:25
21:05	21:05	20:18	20:10



マスカット号

中野
 新宿 ↔ 岡山
 倉敷
 毎日運行

時刻表		運賃表	
21:05	21:15	21:45	6:35
6:40	7:45	7:55	8:00
8:37	8:45	7:45	7:35
7:15	7:15	22:30	22:25
21:05	21:05	20:18	20:10



東京ミッドナイトエクスプレス京都号

新宿
 渋谷 ↔ 京都
 枚方
 毎日運行

時刻表		運賃表	
23:00	23:30	5:32	5:45
6:03	6:43	7:08	7:24
6:13	5:48	23:41	23:25
23:05	22:25	22:00	21:35



新宿・豊橋エクスプレスほの国号

新宿
 中野 ↔ 豊橋
 三河田原
 毎日運行

時刻表		運賃表	
22:55	23:15	23:40	4:52
4:59	5:04	5:06	5:30
5:45	5:55	6:10	6:25
6:10	5:50	5:30	23:59
23:52	23:46	23:44	23:25
23:02	22:53	22:35	



旅と宿の物語

中央線
新宿・中野・三鷹発



旅ものがたり

そば打ち&陶芸体験の伊豆

軽井沢プリンスホテルお買いもの

河口湖 青木が原樹海と洞窟探検

紅葉の秩父路 長瀬ライン下り

学び舎のまち足利

宿ものがたり

誰も知らない、笑顔あふれる那須

那須湯本…古の源泉三湯

新しいくつろぎの塩原



旅プラスワン

那須湯本 夏号



那須湯本 秋号



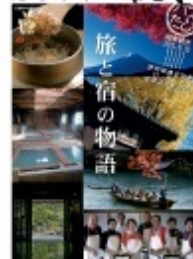
那須湯本 那須観光協会 (0256) 94 - 3154
電子書籍版
【夏号】 <http://p.booklog.jp/book/27970>
【秋号】 <http://p.booklog.jp/book/33999>

路線バス車内ラックなどで配布しています



関東バスや新交通リナーとリンク
車内ラックなどで配布しています。
詳しくは、各観光協会へお問合せ
ください。

2011 秋冬



cover photograph
左上 「湯原の宿 静」
左中 「湯の湯」
左下 「四季味亭ふじや」
右上 「河口湖紅葉台」
右中上 「足利学校」
右中下 「長瀬ライン下り」
右下 「伊豆・観音亭」



旅行・観光専門ライター そして三児のママ

新潟大学人文学部行動科学課程
卒業。人の行動って、何から生ま
れるのでしょうか。

昨今、インターネット上にある
情報や商品は膨大です。その中で
自分に合うものに出会えることの
方が奇跡……。ネット上でそれに出
会うためには、「検索」という非
常に便利であり、やっかいでもあ
る扉を開けなければいけません。

旅行の情報を探すにもネットは有
効ですよ。でもその一歩前の事
象が、ここにはあります。

「生ビール1杯または地酒付き
で〇〇〇〇円」なんて宿泊プラン、
よく見かけますが、人はそういう
「プラン」が欲しいわけではありません。条件だけで勝負するような
ものじゃないですから。

旅って、もともと形のないもの
です。宿の皆さんが「おもてなし」
「ホスピタリティ」なんて叫ぶよ
うに、旅ってそういう、心の琴線
に触れるもの。だからこそ、欲し
いのは「どんな体験ができる?」「
どんな過ごし方ができる?」の
感覚。

それをイメージできる「ものが
たり」でこの本は作られています。

金澤 佑樹



高速バスの座席ポケットと東京
都内の中心部・日本の人口のおよ
そ一〇〇人に一人がここに住んで
いるという超！人口密集エリアで
配布されています。このレアエリ
アで上手に観光PRをしている地
方自治体もあります。多くの人が
その地を訪れ、そして今新しい地
域も手を挙げてくれています。う
んうん、今後が楽しみです。

この本が多くの人の手に渡り、お
うちに持って帰って何度も読み
返してもらえたり、高速バスに揺
られながらバス酔いしない程度に
「ものがたり」の世界にしばし浸っ
てもらえたりすることを祈ってい
ます。

あなただけの旅「ものがたり」
が見つかりますように……。

本誌掲載のバスツアー企画のご相談、
寝ものがたり掲載、その他広告掲載
につきましては、下記までメールで
お問い合わせください。
機サンス・エクリアル
info@yadonoyuuki.jp

旅と宿の物語
発行:関東観光株式会社
東京都中野区東中野5-23-14
国内旅行(東京都知事登録旅行業第2-163号)
電子書籍版 <http://p.booking.jp/book/34001>
本誌制作:株式会社サンス・エクリアル



旅行・観光ライターの情ら3児のママとして
「日本保育協会」の本も制作してたりします。

JR・東武足利時刻表 『行くたびに、違う色のまち』



栃木県足利市 お問い合わせ・お取り寄せは
足利市観光協会 (0284) 43 - 3000

伊豆で日本の伝統を体験 秋だけの特別な蕎麦



バスの中で一番浮かっていたのは、多分久しぶりに1人の時間を満喫している絵美だろう。4人の中で唯一子どもがいるから、なかなかこうい

うツアー参加はできない。今日は仕事の都合をつけて、大学時代の友人が集まった。めざすは伊豆！

城ヶ崎でいったんバスを降りて散策。さっきまで見ていたはずの美しい海に近づいてみたら、なんと断崖絶壁！「きゃー」って、叫びながら吊り橋を渡る理恵子は、まだ独身。明らかに外からの視線を意識した歓声ね、と笑って、彼女の脇腹を攻撃。絶景を堪能したらそば打ち体験へ。

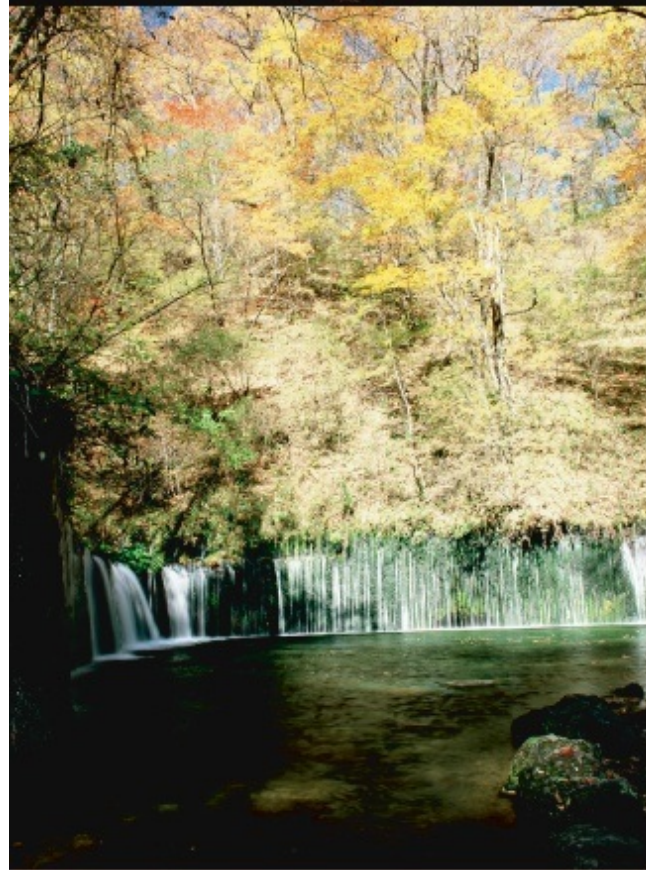
「そばの実、初めて見たわ」とメガネをはずしてまじまじと見る、専業主婦の由香。三角輪型をした黒い種実、これには私も驚いた。てっきり粉からこねて切るだけと思っていたのに。そばの実を石臼に入れて、ゆっくりと回す。こり、こりと動く。初めての経験にみんな興奮気味だ。そばは三たて、というのが理想だそう。「挽きたて、打ちたて、茹でたて」の3つ。材料のどれひとつ捨てることないそば打ちを、自分の体で経験する。「今の時期はこれにもうひとつ加わって、四たてなんですよ」え？何がもうひとつなの？

「新そばです。うちは日本一の生産量を誇る、北海道幌加内町からそばの実を取り寄せています」そうか「取れたて」なのね！とまた感動。作ったそばを茹でるのは、お店の方がしてくれるそう。うん、そこはプロの手ね。いただきます！初めてそばの実から作った自分のそばは、特別な味がした…。

おなががいっぱいになったところで、お次は陶芸体験。ろくろを回すと、ゆっくりと土が動いていく。自分のイメージする形になったりならなかったり。「あ、これ大きすぎ、旦那の湯のみにするわ」と私が言ったら「あ、あ、小さすぎちゃった…娘のにするわ」となかなか楽しいことになっていく。みんな自分のためでもあり、人のためでもあり。そして…「この湯のみが後から届くのも、また楽しみなよ」そう、旅の思い出はまだ続くの。「届いた頃に、またここに来たらよかったりね」なんて笑う由香。「今度は彼と来ようかな」と憎たらしいセリフの理恵子。

「冬になると、握り寿司体験もあるらしいよ」と絵美に言ったら「わあ、





練馬！Cから軽井沢までをバスで走る。
時折鋭角になる山の稜線を眺めながら、
白糸の滝へ到着。
駐車場ですでに水音が聞こえ、
5分ほどで滝へ。
白く細き水が、広く浅い滝つぼへ流れていた。
思い切り空気を吸い込む。あぁ気持ちいい。
水音で癒されたら、
お次はプリンスホテルでの中華ランチ。
上品な北京風中華で、
同じバスで来ていた年配の女性も嬉しそうに食べている。
ホテルの中も快適で、
そのまま歩いてアウトレットへ向かう。
さあショッピングだ。
地図を片手にお目当てのショップを行ったり来たり。
あぁどうしよう、
買っちゃおうかな…迷っている暇はない。
もう集合時間！レジに行ってお買い上げ。
最後の目的地である雲場池に行く。
さっきの喧騒がうそのように、
水面に美しい紅葉が映り込んでいる。
食欲も、物欲も満たされた後は、
人間静かになるものね。
あぁ、なんて優雅な秋の軽井沢。

子ども連れて来ようかな」とはしゃいでいる。楽しいことがあると、す
ぐに人に話したくなる。それが女子のいいところ。じゃあ私は…今度は
旦那と来ようかな？



本誌ものがたりがテーマのバスツアー情報はコチラ♪ネットで予約もOK!!

バスツアーの詳細情報は関東バス車内で
配布している「バスたび」のチラシを
ご覧ください。お問合せ・お申込みは
関東観光株 ☎(03) 3362-6636
または「旅プラスワン」予約サイト
<http://www.tabione.com/kantobus>



富士の氷が最も美しい季節に……

溶岩洞窟 樹海探検



「今が一番いい時期らしいよ！」
え？と振り返る。サークル仲間の
キクチが目を合わせたかと思うと、
他の皆に混ざっていく。「あいつ絶
対に里佳に参加してほしいんだよ」
と小声で親友のマナ。あ、サークル
で行くツアーね。どうしようかなあ
とつぶやいてみたものの、私の心は
決まっていた。

当日は皆でバスに乗り込んだ。知
らない人もいるけど、仲間は全部で
12人。河口湖に到着すると、まずは
甲州名物の「ほうとう」作りで腹こ
なし。ばかばかおながが温まる。

そのあとはつなぎにお着替え。「里
佳って赤色似合うんじゃないか？」洞窟
の説明を真剣に聞いているふりをし
て、あたしはその言葉をスルーした。
富士山は若い森だという。噴火し
て溶岩が流れ、そこから千二百年の
時を経て、ようやく今の森が出来上
がったそうだ。「溶岩洞窟」は世界
的にも珍しいそう。そっかあ、鍾乳
洞とは違うんだ。と納得していたら、
キクチが「すげーな」とこちらを向
いた。つい頷いて、そのまま中へ。

そこは、あたしの知らない世界。
凍と張り詰めた空気の中に、下から
そびえたつ氷の柱。「秋から冬にか
けては、一年でもっとも氷がきれい
に見える時期です」と聞いて、まず
まず感動する。皆のライトに照らさ
れて、氷はきらめきを増す。つらら
は知っているけど、氷柱は初めて。

ガイドさんに促されて、皆でライ
ト消してみると、そこには本当の暗
闇が広がった。何も見えない、漆黒
の世界。「…里佳？」知っている声
が聞こえる。「キクチ？」やっと返
して、また明かりを戻す。そこには
やさしい瞳があった。その小さな漆
黒の中に、あたしだけがいた。

洞窟を出たら、今度は樹海を歩く。
そこには「土」がない。踏みしめて
歩くはずの地面の感覚とは違い、溶
岩と、その小さくなった砂、樹の根っ
こ、こつこつとした知らない地面。
森が進化していくことを、遷移と
いう。樹海の森は、まだ若いけど、
その遷移の流れを見られる貴重な場
所がいくつもあるそうだ。溶岩の上
に様々な形状の木が生え、その根は
地中ではなく、地面を横に這うかの
ように姿を見せている。苔が生え、
折り重なる緑の木々に、あたしは無
言で立ち尽くした。

「樹海って、怖いのかと思ってた」
その声は誰だか、もうわかってる。
あたしは顔を上げて言った。
「やさしくて強いんだね、森って。
知らないこといっぱい見たよ、あた
し」地を這う根っこにつまずいたふ
りをして、あたしはキクチのつなぎ
の裾を、引っ張った。

「ここから出るまで、捕まってる」
そのまま大きく深呼吸する。明日、
赤い服を着ようかな、なんて考え
るあたしがいた。



荒川の源流近く、 紅葉を愛でる秋の一日。

都内を流れる荒川。普段よく目にするこの川の源流を訪ねる旅へ。

まずは長瀬ライン下り。幅の広い雄大な川に、いつもの表情とはすでに違うと感じつつ、岩畳で下船。広大な自然岩石に圧倒され、ゆっくり歩く。そこからは、秩父市と山梨市をつなぐ、日本三大峠の「雁坂峠」へ。

左手には、いつのまにか急いだ表情の荒川が見える。時々様子を見ながら、と油断している

と、滝沢ダム眼前に望む「ループ橋（雷電廿六木橋）」。ぐるりと大きく円を描きながら走る。どうやらこのあたりが荒川の源流近らしい。思わず「すごい！」と叫んでしまった。

そして赤い橋、黄色い橋を紅葉に感動しつつ渡ると、13年前に開通した「雁坂トンネル」へ。一般国道山岳トンネルで、国内最長の6625メートルを抜けると、そこは山梨市だ。さて、秋の味覚はどう狩りをしてお土産にしようかな。



旅プラスワン

本誌ものがたりがテーマのバスツアー情報はコチラ♪ネットで予約もOK!!

バスツアーの詳細情報は関東バス車内で配布している「バスたび」のチラシをご覧ください。お問合せ・お申込みは関東観光株 ☎(03) 3362-6636 または「旅プラスワン」予約サイト <http://www.tabione.com/kantobus>



OK!料金や空車が一目でわかる

ムにおまかせあれ!



都内なら
最安

5,250円(税込)から

※表示金額は都内で24時間借りた場合の目安です。車種、プラン等によって変わりますのでご注意ください。

レンタカードットコムならではのポイント!

- ★ 約2000店舗から格安レンタカーを一括検索・比較できる!
- ★ ETC、ナビなどのオプションも選択可能!
- ★ 異なる店舗へ返却可!乗捨予約もできます!
- ★ RV、乗用車、ミニバンなど希望の車両タイプを検索、選択!
- ★ 直前予約も可能です!



一人旅

パソコン・スマートフォンからもラクラク予約!

<http://www.web-rentacar.com/>

いつも最新の
おすすめプランをご提案!

レンタカードットコム

検索



現地に
着いたら

日本全国、24時間いつでも

レンタカードットコム



いろいろなシーンで大活躍のレンタカー



デート



家族旅行



出張



日本全国、24時間いつでもOK! 料金や空車が一目でわかる

RENT-A-CAR WEB CONVENIENCE

レンタカードットコム

学び舎のまち足利 秋の散策で願うのは ほんの小さな親ごころ



上 / 長林寺の紅葉。ハイキングコースの起点ともなっている公園が広がる。左 / 足利学校の門。大銀杏が輝きを増す美しい季節。



秋の足利は深い。紅葉がきれいな時期なのはわかってはいるけど、それ以上に見る場所が多すぎて、迷ってしまう。まずは「足利学校」。最初の大銀杏に圧倒されながら、2人で縁側に座り込む。

ふうつと深呼吸。時間がとまる。ちようと「足利学校さままつり」も行われていた。地元の人たちは、足利学校のことを親しみを込めて「学校さま」というらしい。道すがら漢字段位検定なんてしている。学び舎のまちならではの光景ね。骨董市その他、そばの手打ち実演や、地元グルメの店も多く、歩いているだけでも楽しい。

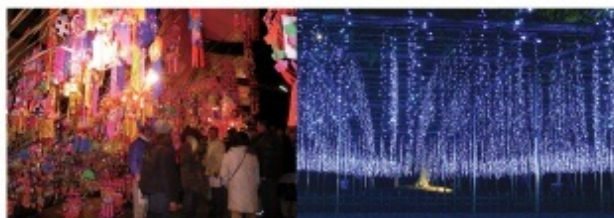
うきうきしながら目的地を巡るのは、旅ならではの。足利市は文化財も多いところ。期間限定でそれらの文化財を一斉公開していることもあり、市内の各所は多くの人出になっている。

県下の東京▶足利連絡時刻表の地図と
連動しています。ご参照ください。



足利市秋のイベント

- 10/29(土)・30(日)
足利そばまつり
(場所:とうこうコミュニティセンター 地図E-3)
- 10/29(土)~2012/1/22(日)
光の祭典イルミネーションまつり
(場所:あしかがフラワーパーク 富田周辺地図)
- 11/3(木)
足利織姫神社秋季大祭
(場所:足利織姫神社 地図A-2)
- 11/3(木)・4(金)
鏡阿寺秋季大祭(場所:鏡阿寺 地図D-2)
- 11/6(日)
スポーツレクリエーション祭
(場所:中橋緑地多目的広場 地図D-5)
- 11/13(日)
足利尊氏公マラソン(場所:総合グランド他 地図E-1
足利市田所町1123番地)
- 11/19(土)・20(日)
恵比寿講(場所:西宮神社 地図A-1
足利市西宮町2931番地)
ココ・ファーム・ワイナリー収穫祭
(場所:田島町 足利IC周辺地図)
JAまつり(場所:弥生町20番地 JA足利足利本所)
足利の文化財一斉公開(場所:市内各地)
- 11/19(土)~23(水)
足利学校さままつり(場所:学校さま通り 地図D-5)
三大陶器まつり(場所:栗田美術館 富田周辺地図)
足利グルメグランプリ(場所:栗田美術館 富田周辺地図)
足利学校・足利市立美術館・草雲美術館は期間中無料公開
- 11/23(水)
釋奠(場所:足利学校 地図D-3)
足利道楽2011(場所:友愛会館他 地図C-3)



右 / 光の祭典イルミネーション。大藤やその他の花々を光で表現しており、子どもから大人まで楽しめる。左 / 西宮神社での恵比寿講。10時から夜まで能楽盛感を願い、多くの参拝客が訪れる。賑やかな雰囲気の中、神楽奉納も行われている。

足利市観光協会

<http://www.ashikaga-kankou.jp/>


栃木県足利市伊勢町3-6-4

(0284) 43-3000

お電話またはメールでお問い合わせいただければ、パンフレット送付します。



夕闇が迫るまで、友と2人歩きつ
くした気がしていた。「そろそろ帰
ろうか」と言ったら「まだ行きたい
場所があるの。いい？」と強いまな
ざし。あら何かしらうつついていく。
そこは夕焼けに映えた「長林寺」。
足利学校とはまた違う秋の美しき
に、私はうっとりみとれる。ああ、
きれいなね。そんな当たり前の言葉を
発するのもしどかしい。微妙な葉の
色合いに感動しながら、私たちは最
後の目的地である「西宮神社」へ。
太陽が沈む中、商売繁盛を願い、賑
やかに「お宝市」が行われていた。
そうだが、息子夫婦にお宝を買っ
ていこう。足利にはそばの名店が多
い。それにあやかっつて...どうか息子
のお店も繁盛しますように。
切なる私の、小さな願いです。



驚いて赤くなつたのは
塩原の紅葉だけでなく
私の頬もでした。



右 / 「箱の森プレイパーク」には紅葉の森がある。自然そのままの環境で知芸体験や日帰り温泉が楽しめる。右下 / 「もの語り館」にあるカフェレストラン洋樓。景観の良さとともに、塩原ならではの食を味わえる。下 / 「もの語り館」の対岸に位置している「紅(くれない)の吊り橋」。ここから紅き世界が広がる。のんびりと散策してみてほしい。



塩原の紅葉は美しいと、よく耳にしていたものの、なかなか来る機会がなかった。けれど「行ってみなよ」と背中を押してくれた息子のおかげで夫婦2人、久しぶりの旅行に出る。最初に「もの語り館」へ。観光協会でもらったパンフレットを片手に、歩き出そうとしていた、その時。

「腹こなししよう」と主人の声。まあ、呆れた。と言いながら入ったレストランは、窓から秋色望む、目にも美味しい食事処。塩原秋の御膳をいただきながら窓の外へ目を向けると、吊り橋が見える。「あそこへ行きたいわ」と言うと、黙って頷いてくれたので、食後は「紅の吊り橋」へとゆっくりと歩く。

美しく色づいたもみじが、まるで手に取るかのように近くに、そして遠くにもある。まるでこの先が別世界かのような橋を、静かに渡る。

そこは、一面秋色の世界。まだ色づいていない葉、真紅の葉。重なり合うもみじが、川風に揺れている。わあ、なんて気持ちがいい…。

「あつ」

ずっと見上げていたら、足元が不注意になっていた。小さな枝先が足に引っ掛かっている。「なんだ、気をつけなさい」と主人が私の手を取る。あらま、なんてこと。驚きながらも、なんだかくすぐつたい。秋風に、たなびくふりして向こう顔…。



那須ものがたり

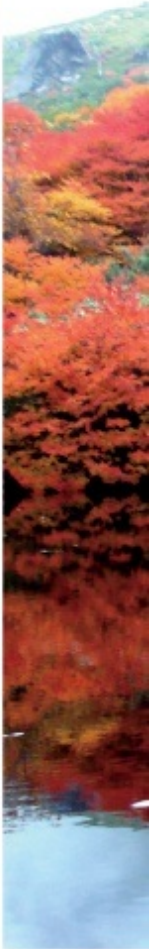
お前の行きたいところはわかっているから。
もう少しだけ、
俺に付き合ってくれないか。

那須街道を湯本の方に向かっていくと、徐々に木々が色づいてゆく。周りにはおしゃれなカフェやレストランが並び、いかにも高原らしい雰囲気。「可愛いわね、あのお店」と妻が言う。きつと寄ってみたいのだろう。気持はわかるが、今日の目的は、ずばり「紅葉」。那須連山の美しい色合いを見にやってきた。妻の要望は、その次にさせてもらおう。

あまり体力のない妻をねぎらって、今回はロープウェイで山頂近くまでを目指す。那須連山の主峰である、茶臼岳の9合目まで連れて行ってくれるから、楽なものだ。

日本百名山にも選ばれた山に、そんなりと登れるのは、年をとった我々にはありがたい。小さな子ども連れの変も見ると、そうか、今度は孫を連れていっしょに登るのもいいなあ、などと、まだ4歳の孫に少し先の未来を想像した。

ロープウェイで登っていくと、眼下には鮮やかな紅葉が姿を現わす。先ほどまで近かった赤色が、下の方に折り重なってゆく。私はしげしげとそれを眺め、静かなる感動にひたった。



右/茶臼岳「鏡沼」とよばれる美しき場所。木々の色合いが映し出される水面がなんともしえない輝きを見せてくれる。上中/こちらも茶臼岳絶ヶ平の紅葉。左/那須の「つつじ吊り橋」。高さ 38m の橋上からは那須連山の美しい紅葉が楽しめる。左下/ロープウェイもあるので、気軽に登山できるのが嬉しい。もちろん本格的なトレッキングも可能。活火山を歩く貴重な体験ができる。右下/開湯 1300 年以上を誇る、那須の名湯「鹿の湯」。入浴料 400 円でこの白い濁り湯を堪能できる。8:00 から 18:00 まで営業。下/那須連山の頂上にある茶臼岳は、標高 1915m。四季折々の那須を見せてくれる。

山頂駅に着く。ここから山頂までも歩いてわずか 50 分程らしいが、私たちはのんびりと散策。関東唯一の活火山のここまで登れるだけでも感謝。毎年の紅葉は 10 月上旬から中旬だという。うまく当たればこのような絶景が望めるようだ。

ああ、気持ちいい。山頂へ向かう人々を眺めながら、私は思い切り秋の空気を吸い込んだ。赤く色付く葉を後ろに、私たちは頂上まではいかず、再びロープウェイで降りることにする。3 分 40 秒の乗車…。

「少し疲れたわ」という妻を、黙って連れてきたのは、名湯「鹿の湯」。宿の温泉に入る前に、せっかくだからここも行っておきたいと思っていた。白濁の湯に、どっぷりと浸かると、日々の疲れがすっかりと抜け落ちる。温泉とは不思議なもの。

さて、明日は妻の要望にこたえて、あのカフェに行ってみよう。家で妻がずっと調べていた、美味しい珈琲を飲み。まだそれは内緒の話…。





誰も知らない那須

静かな時が流れる不思議な宿で、うっかり…
それもまた旅の醍醐味。秋の夜は長いのです。

別荘地に入り込むと、先ほどまでのにぎやかな空気が、ぐんと静まり返った。アプローチには、鮮やかなもみじが舞い、石畳をそうつと歩く。「あら、素敵なお庭」と連れが嬉しそうに笑う。たまにこうして夫婦で旅行はするが、那須にこういう宿があるとは初めて知った。館内に入ると、目の前は小さな中庭。中に案内されてチェックインの手続きをしていると、「もみじがきれいだよ」との声。庭園に目を向けると、そこには秋の一枚絵のような美しき水が流れていた。はかないもみじもまた赤く輝いて見える。

温泉と岩盤浴の利用時間をあらかじめ予約。その方がスムーズに動けるな、と頷く私を見て「あなたの性格にはぴったりじゃない？」と心を読んだように連れが言う。それにしても2人で貸切できるのは、ありがたいやら恥ずかしいやら。

まずは客室へ。決して広いわけではないが、なんとなく居心地のよい落ち着いた和洋室。この年になると、布団

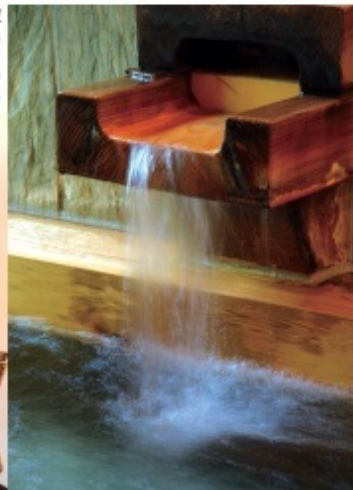
よりもベッドが使い勝手がよい。最近我が家もそうしただけに、床先でも同じなのはありがたい。そんなことを考えながら、ふうわりベッドに横になってみたら、どうやら眠ってしまったようだ。「珍しいわね、あなたがお昼寝だなんて、もうすぐ夕食よ」と起こされる。：我ながら驚いた。私を眠りに誘った床先は初めてかもしれない。不思議なほどに居心地が良い。ゆつたりとした空気に飲み込まれて行く。目覚めで食べるのは、朝食か？いや夕食だな。ああ、まだ寝ほけそうだ。

達瀬の宿 静

(0287) 76-7173

【住所】 栃木県那須町高久丙 405-386
【HP】 <http://www.ousenoyado.com/>
【宿泊料金】 1泊2食 14,700円～
【日帰り料金】 1日4組限定 2,625円～

那須の別荘地に行くと隠れ家のような宿。和洋室と洋室で6室、露天付特別室1室、隣接する離れ「常盤」1棟。貸切で利用可能な露天付のお風呂、岩盤浴もあり、快適なリゾート滞在が楽しめる大人の空間。定評ある釜炊きご飯は、食事のペースに合わせて出してくれる。



皆の笑顔が あふれる那須



根強いリピーターに支持され、数々の受賞経験を持つプチホテル。スタンダードツイン、和洋室、スイートの4室の贅沢な空間が、ほほ洋風なのに対し、日本人が大好きな温泉は和風、という心憎いおもてなし。名物はジャンボ海老フライ。お皿からはみ出るほどの海老を、思い切りがぶりといきたい。

ペンシオーネ サライ

(0287) 62-5066

【住所】栃木県那須町高久甲 5406-10

【HP】 <http://www.sarai.co.jp/>

【宿泊料金】1泊2食 14,800円～

※「旅と酒の物語」を見て、と予約すると、

1人につき1000円引き。

※ピンクリボンに協賛しています

和風と洋風が融合する、4部屋のプチホテル。
またここへ来るのに、そう時間はかからない。

つい3か月前には、新婚旅行でローマに行ったばかりのような気がしていた。だけど、親友の絵里に聞いたところ、どうしても行ってみたくなって、「今週末、那須に行きたいの」と大輔におねだりしてやって来た。

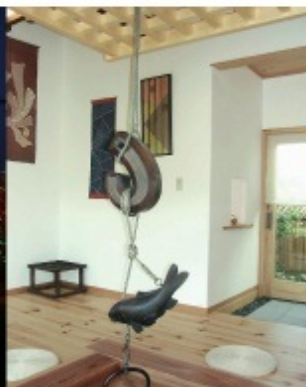
「女の子好きそうだな」と叫んだ彼は、最初苦笑い。でもスイートのお部屋に入った途端、アンティーク好きの魂が震えたらしく、家具を凝視し始める。シックな深い緑の家具たち。少し高めめのベッドは、素人の私が見てもとっても素敵なものだった。

加えてお風呂に行ったら純和風。大輔は心からリラックスできたみたいで、のんびり温泉に浸かっている。そうだよ、急にお泊り行こうなんて、いつも仕事で忙しいのに、ありがたう。露天で言ったけど、聞こえたかな？

その後の夕食で満面の笑みだったのは、私以上に彼だった。大きな海老フライには大感動したのは2人ともだったけど、これがメインディッシュかと思っていたら、そのあとにステーキまで。私たちはワインを飲みながら、ゆっくりとその食事を楽しんだ。

気が付いたらホテルのオーナー夫婦と、彼が盛り上がり話をしていて。何の話？と思ったら、どうやらお部屋にあった家具のことのよう。「彼すこいわね、詳しいのね」と奥さま。

すっかりご夫婦と気が合って「また冬に来ます」と彼の声が聞こえる。彼は知っているのだろうか？この宿が、クリスマスイルミネーションで有名なのを、私は少し先のイルミを想像しながら、ハロウィンで彩られたこの素敵なプチホテルで、のんびりと過ごした。また来ようね、と彼につぶやいて。





塩原の新たな寛ぎ

あんなに1人喋りをしていたのに、
僕のつぶやきを決して聞き逃さない、母に完敗。

「また行きたいわー」それが母の最初の一言。帰ってくるなりずっと話し続けている。「露天付って初めてだったけど、いいものねー。広いお風呂がいいって思ってたけど、ああいうのって何だか自分のための空間って感じでねえ」「お母さん、5回も入っちゃった」「館内が広すぎなくてよかつたわ。迷子にならなくて。あはは」「お夕食の場所も素敵なの。ね、お父さん」それまで圧倒されていた父が、ようやく口を開く。「あの、あれだ。スパークリングワインも、ありがとな」

それは、僕が2人のために宿にお願いしておいた結婚記念日のサプライズ。友人から教えてもらった旅館を僕が予約し、昨日から探しそうに出かけて行った2人。がさがさと靴の中を探っていた母が「これお土産」と紙に包まれた箸置きを取り出した。「夕食の時に可愛いなと思っていたら、売店にあったのよ」と、きちんと自分の分も買ってきている。楽しんでくれたみたいで良かった。正直、ほっとした。自分が行っていない宿だから、少し不安だったのだ。

父に、どうだったかと尋ねると「栃木県なのに、刺身が旨くて驚いた」と一言。へえ、と繰り返したら、その言葉をまた母が奪い去る。「そうなのよーお刺身もそうだけど、とにかく料理が美味しくて。だからお母さん、つい飲んじゃってねー」

「あのワイン、ほとんど空けたな、お前が」父が呆れ顔でつぶやく。普段全く飲まない母なのに。相当食事がお気に召したか。そう思うと僕も嬉しくなった。社会人になってから親孝行なんてしてこなかったけど、少しは挽回できたかな。「また記念日に行きたいわね」と繰り返す母。来年の分までおねだり？

でも、そんなに良かったなら、僕も来月行こうかな…ふと自分のことを思い返してみる。彼女と付き合ってから1年の記念日。「あら、あなたそういう相手がいるなら、紹介してよ」恐るべし、母、聞かえていたのか？まさに地獄耳とは、このことなり。

四季味亭 ふじや

(0287) 32-2761

【住所】栃木県那須塩原市上塩原 675
【HP】 <http://www.1fujiya.com/>
【板長 Blog】 <http://ameblo.jp/1fujiya>
【宿泊料金】 1泊2食 18,000円～

玄関をくぐると、そこには新しい寛ぎ空間が広がる。6箱をもてなす宿の、板長のこだわりは食材の吟味から食事を提供するタイミングまで続く。個室風の食事処でゆっくり味わって。左下は和室10畳の露天風呂付客室。今回ご両親が過ごしたのはこのお部屋



湯三源泉那須の古え



昔から湯治客が足を運ぶ小さな温泉街。「とちぎにこり湯の会」のお湯ならでは。源泉は約58度。古い造りを大切にしてきた和室、囲炉裏は今も現役で、常連さんの憩いの場となっている。けやきの階段は昭和初期のもの…今もここに残る昭和の息吹は、そこかしこに残されている。全7室の宿

鹿の湯源泉かけ流しの宿
民宿 新小松屋

(0287) 76-3633

【住所】栃木県那須郡那須町湯本178-3
【HP】 <http://park18.wakwak.com/~dai/s/>
【宿泊料金】1泊2食 6,650円～
【立寄り湯】写真下：鹿の湯徒歩1分(400円)
共同浴場「瀧の湯」徒歩2分

明日からは、もうひと言だけ増やそうか。
このお湯も、旅も楽しむのは2人でだよな。

言っておくが、私は温泉にうるさい。若い頃は肌が弱かったせいで、自分合う温泉を十分吟味してきたからだ。そんな私に「にこり湯に行く？」と妻が言った。珍しい誘いに困惑しながら家を出る。那須高原の街道を抜けて山へ向かう。細い路地を進み、外へ出た途端「あら、硫黄の匂い」と先に言われた。ふうわりと、空気の中って温泉が私を誘う。到着と同時に、まずはお風呂に向かった。

の行き届いた風呂の造りに、頼きながら湯が出る。「鹿の湯、すぐそこよ」との声で、そのまま移動。着いたそこは、単純酸性硫黄温泉。かぶり湯をし、ゆつくりと湯船へ。うはああああ…。これぞ湯三昧。2回も風呂に入ったら、少しばてた。タイミングよく夕食の時間だ。ビールを飲んで箸をすすめる。それにしてもここは不思議と居心地がいい。黙って食べ続ける私に、「何か不満なの？」との声。いいや、と首を振って、夜は気持ちの良い和室でぐっすり眠った。

翌朝は5時半に起きてもうひとつの「共同浴場」へ。実は源泉が3種微妙に違う、と昨日の夜4代目宿主に聞いたからだ。それを堪能して、朝食を食べたら宿を出る。妻の希望で茶臼岳へ。ハイキングといっても途中までロープウェイに頼り、山頂まで歩く気軽なコース。那須一帯の紅葉を失いつつも「うん、来てよかった」と発したように、「まあよかった」と急に妻の顔が明るくなった。そうか。言葉が少ないのか、そんなことに気がついた。夫婦の秋旅、なかなかいいもんだ。



秋冬 体験ツアー

電話で! ネットで! らくらく予約



関東観光
2011.9-12



探検!! 親子で、友達と、彼女彼氏と... サークル・ゼミの皆さんにもおすすめ!

土休日 出 発

青木が原樹海溶岩洞窟と 山梨伝統ほうとう作り

富士の氷が最も美しい季節に 本物の在りの低を見に行こう! 観光洞窟でない... 手つかずの洞窟と樹海を探検

※写真はイメージです

さあ、出かけよう未知の世界へ... 「旅と宿の物語」より抜粋
そこは、あたしの知らない世界。凜と張り詰めた空気の中に、下からそびえたつ氷の柱。「秋から冬にかけては、一年でもっとも氷がきれいな見える時期です」と聞いて、ますます感動する。暫のライトに照らされて、氷はきらめきを増す。暫でライト消してみようと、そこには本当の暗闇が広がった。何も見えない、漆黒の世界... 洞窟を出たら、今度は射海を歩く。そこには「土」がない。踏みしめて歩くはずの地面の感覚とは違い、溶岩と、その小さくなった砂、樹の根っこ、ごつごつとした知らない地面。森が進化していくことを、遷移という。射海の森は、まだ若いけど、その遷移の流れを見られる貴重な場所がいくつかあるそうだ。溶岩の上に様々な形状の木が生え、その根は地中ではなく、地面を横に這うかのように姿を見せている。昔が生え、折り重なる緑の木々に、あたしは無言で立ち尽くした。

- 持参するもの
帽子・軍手・飲み物・タオル・上下別のレインウェア(貸出可)・リュック
- 服装
長袖・長ズボンの動きやすい服装、履き慣れた靴

出発日 11/3(祝・木) 5(土) 12(土)

旅行代金 大人・小人ともに 1名様

20 OKI

14,500 円

コース B23-9

三鷹駅北口(7:30出発) = 中央道 = 河口湖カントリーレイクシステムズ ☎0555-20-4052 (ほうとう作り・実食) = 青木が原樹海と溶岩洞窟探検ツアー = 道の駅鳴沢(買い物) = 中央道 = 三鷹駅北口(19:00頃着予定)

※ガイドは乗務しますが、添乗員は同行しません。

テレビ旅番組でも 紹介されている! 伊豆高原体験の里

秋限定!! 日本の伝統 蕎麦打ち・陶芸ろくろ 欲張り体験二本立て

土休日 出 発



自ら打った至極の「四たて蕎麦」を味わう贅沢!

そばの極意 挽きたての蕎麦を、打ちたてで、茹でたてで、北海道の「穂加内」直送! 使用内直送!



旅の後にも楽しみ! 作った品をお届け!

※送料は別途掛かります ※写真はイメージです

出発日 12/4(日) 10(土) 18(日)

旅行代金 大人・小人ともに 1名様

20 OKI

10,000 円

コース B23-10

中野区役所(7:45出発) = 新宿駅西口(8:30出発) = 東名・小田原厚木道路 = 伊豆高原体験の里 ☎0557-54-3006(そば打ち体験と実食・陶芸ろくろ体験) = 小田原厚木道路・東名 = 新宿駅西口(18:30頃着予定) = 中野区役所(19:00頃着予定)

※ガイドは乗務しますが、添乗員は同行しません。

集合場所案内 出発時刻15分前集合



Shikinoyado MINOYA

源泉掛け流しの
名湯を楽しむ
美しき日本の
四季を奏でる宿



美しい縁に心が癒される



一品一品心のこもった料理



展望露天風呂



我が家のようにリラックスできる温泉館のスタンダードルーム



「温泉館」客室一例

パワースポットとしても知られる幽玄な弥彦山のふもと、四季の美しさとあたたかい心づくしのもてなしで迎えてくれる「四季の宿みのや」。新客室フロア「浪漫館」は、ステンドグラスやアンティークの照明、レトロな家具でまとめられ、大正浪漫の雰囲気漂う。豊富な宿泊プランから好みに合わせて選びたい。新源泉の「弥彦湯神社温泉」は、100%源泉掛け流し（循環併用式）の効能豊かな美肌の湯。展望露天風呂からは弥彦山を眺望でき、春は桜、夏は新緑、秋は紅葉、冬は雪景色が、旅情豊かに心を癒してくれる。なかでも朝風呂は、弥彦の杜の静寂と澄んだ空気に包まれて爽快な湯浴みを楽しむ。また、玄關脇には足湯もあり、温泉をたっぷり楽しめる。食膳は日本海の旬の素材を中心に、もてなしの心と季節を感じさせる見事なものだ。

四季の宿 新潟県/弥彦温泉



●お電話でのご予約は
TEL (0256) 94-2010 (代)

〒959-0323 新潟県西蒲原郡弥彦村弥彦 神社通り

●インターネットでのご予約は
<http://www.minoya.net/>

ホームページで検索 (Yahoo & Google)